



発行：社会福祉法人 児童養護施設 埼玉育児院

〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1

発行責任者：藤井美憲 編集：埼玉育児院広報委員会

Tel 049-231-2107

Fax 049-231-2111

クリスマスのサンタさん

施設長 藤井美憲

12月に入ると、1年の終わりと新しい年への準備などを意識する時期となります。1年のうちでも何かと忙しく感じる時期です。この時期はクリスマスの準備も進めていきます。

クリスマスは、イエス・キリストの誕生日です。この物語は皆さんよくご存じだろうと思います。イエス様の誕生そのものが、神様の思いやりであって、私たちへのプレゼントだったのです。

プレゼントというと、子ども達は毎年イブの夜にサンタさんからもらえるプレゼントを思い描きながら、楽しみにして眠りについていきますね。サンタさんにお手紙を書く子どもいます。

サンタさんも大忙しの日となりますね。

ところで、サンタさんのお話をご存知ですか？

時は4世紀、イエス様が生まれてから400年が過ぎた頃のお話です。実は、サンタ・クロースさんにはモデルになった人がいるのです。その人は、「聖ニコラウス」という人物です。英語の「セント・ニコラウス」のオランダ語読みが「サンタ・クロース」なのです。小アジアと言われるアナトリア半島(現在のトルコ)のミュラという地域で司教(キリスト教会最高の役職)を務めたと言われており、貧しい人を哀れみ、善行を行っていたことが知られて語り継がれたのです。

そして、クリスマスには靴下を置くようになっていきますね。聖ニコラウスにはこんな伝説もあります。ある貧しい家の娘が、お金がないことで結婚ができずにいるところを憐れんだニコラウスは、煙突から金貨を投げ入れたそうです。そしてその金貨は、暖炉のところに吊るされていた靴下の中に落ちたと言われていきます。娘はその金貨のおかげで結婚式を挙げることができました。

サンタさんのイメージについては、聖ニコラウスが生前、赤い司祭服を着ていたということが元になっています。その情報を元に、あの「コカ・コーラ」が飲料の宣伝のために1931年にサンタ・クロースを描いたのです。口にあご髭をたくわえた陽気で太ったおじさんで赤い服を着ておりサンタさんが現在のサンタさんのイメージとして定着したと言われていきます。

聖ニコラウスは、死後、聖人としてあがめられ、後に12月6日が「聖ニコラウスの祭日」とされました。

サンタさんのお話を知ると、ますますクリスマスプレゼントが楽しみになりますよね。今年も善意のこもったクリスマスプレゼントが子どもたちのもたに届くことになっています。多くの善意と思いやりが今年も届きます。そのような善意や思いやりが平和に結びつくようになることが、クリスマスのお祝いと喜びの意味なのだと思います。



こどもの声

今年、がんばってよかったなあ～

って思うこと



生き生きの部長を
がんばった事

※中学生の部活

夏休みの
実習をがんばった。

学校の登校
がんばった。

うんどうがいの
ダンスをがんばった



自分の思ってる
事をちゃんと話せ
た事。

勉強を頑張
たから、テストで
100点とれた。



サンタさん！！ 見てたよね??

学校に5日
行っていたから
しゅんちゃんや色々
ことあったから
あ。

受験勉強に
勉強をがんばった。

平日毎日1時間以上
自転車に乗った。

体育の時間で
ダンスの発表があって
それに向けて練習を
がんばった。あと勉
強もがんばった！

新生活
楽しく
ひっこした笑
けどかまぼこも
学校がんばり
たい！！

お金の
スイッチを
買ったこと。

※貯金をがんばって
スイッチを買ったこと

ダンス練習！
いっぱいあるって
がんばった！
たのしかった！

林間学校の
玉王将を
がんばりました。

宿題の苦手なところを
がんばった。

※宿題の苦手なところをがんばった
学校で授業をがんばった。運動会の
ダンスをがんばったこと。

第14回チャリティーコンサート

9月28日(土)

川越市やまぶき会館にて
埼玉育児院チャリティーコン
サート、たかはしべんさんの
「しあわせの種」を開催し
ました。



約400名の方にご来場いただき、べんさんと一
緒に歌って踊って、大盛況となりました。

来場者のアンケートでは、“育児院の子どもたち
を応援したい”という暖かい気持ちのこもった
記述が大変多く、チャリティーコンサートの
開催を意義深く感じました。



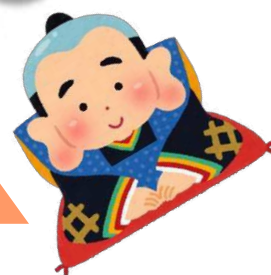
創立記念
お楽しみ会



10月12日(土)埼玉育児院にて

たくさんの皆様のご協力とご支援
をいただき、とても良いお天気の中
今年も盛大に開催することができました。

今年は、懐かしい卒院生たちの立派な姿
がたくさんありました。



児童虐待防止&里親制度

普及啓発



12月1日、令和6年度「障害者週間の集い」笑顔でふれあいフェスティバル(川越市社会福祉協議会主催)に参加しました。

児童虐待防止のシンボル「オレンジリボン」と里親制度をPRしていますが、私たちは何と言っても「児童養護施設＝子どもの施設」ということもあり、“こどもの法律が新しくなったよ”“子どもの権利があるよ”と、このイベントに来ているお子さんに手作りのミニ本を直接渡しながらかつています。

今年で4回目の参加となります。中学生のグループにミニ本を渡すと『知っているよ』と言われたり、毎年このイベントでオレンジリボンに触れることを恒例にくださっている方がいらしゃったり、うれしいふれあいがたくさんありました。

毎年新しい発見と出会いに、ワクワクしながら楽しく参加しています。



ご存じですか？

里親制度

現在、日本の新しい法律“こども基本法”では、6つの理念が掲げられており、そのうちのひとつに『家庭で育つのが難しい子どもに家庭と同じような環境が用意されること(※一部文章抜き出し)』とあります。

この“家庭と同じような環境”を提供するのが、里親制度・里親さんです。

養子縁組を目的としない、数日～短期間、子どもを預かる養育里親の活躍が期待されています。同時に、里親さんが暮らす地域の皆様の理解も重要です。

里親にはならないから
うちには関係ない

って思っている人ほど

! 知ってほしい!



《第10回里親制度普及講座の開催のお知らせ》

日時:令和6年12月21日(土) 13:30~16:00

場所:ウエスタ川越 多目的ホールC・D

内容:①ドラマ上映「ありがとう、オカン」

②里親制度説明

講師 川越児童相談所担当課長 小野依子氏



有名俳優
多数出演の
感動ドラマ

←申し込みフォーム

寄付者・ボランティア紹介

いつもありがとうございます

令和6年9月~11月 順不同・敬称略

【寄付者】辰巳恵美子、有限会社新協山内崇、友野由希子、トレカで子どもを笑顔にする会瀬川健太、岡野一平、(株)フレーベル館出版・コンテンツ事業部、鈴木ミチ江、中村、龍翔園 田中達夫、今井 暁子、合同会社リーシャ、フードバンク川越 池上鉄馬、高橋知子、明治安田生命保険相互会社川越支社、まいまい、川上剛正、餡乃雲、門司一徹、全国シャンメリー協同組合、匿名多数

【ひまわり学習ボランティア】神山裕一、小室敏夫、栗原麻衣子、小野寺久、タンリジン、榎並和良、吉野和子、Jim Smith 【ダンス教室】Act The Family 【スケートキャンプ】森田和治みなさま 【ピアノ教室】中西桂

【イベント等招待】三菱広報委員会、公益財団法人日本サッカー協会、NHK エデュケーション(8月)

【花植え・除草等環境整備】育児院サポートクラブ 【遊び・イベントボランティア】酒井典雄

【お楽しみ会協力】川島釣り堀、川越ライオンズクラブ、川越つばさライオンズクラブ、川越法人会

【法人事務室あて】クドウアツシ、埼玉県更生保護女性連盟、国際ソロプチミスト埼玉、子供の未来を育てる会、埼玉育児院後援会、株式会社五輪、喫茶 MO'N 増山晃一、川越優親会、須賀原裕一、山伝自治会、貫井長司、いるま野農協霞ヶ関支店、山伝育成会、柴山英士、西村建設